

第 4 回 伊丹市公共施設マネジメント推進検討委員会 議事概要

開催日時	令和 4 年 8 月 4 日（木）13 時 30 分～14 時 45 分
開催場所	伊丹市役所議会棟 3 階 議員総会室
出席者	青木委員、太田委員、直田委員、田爪委員、堤委員、細井委員、若本委員、和田委員
欠席者	なし
事務局	総合政策部長・総合政策部参事・施設マネジメント課長他
傍聴者	0 名
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 報告 (1) 第 3 回伊丹市公共施設マネジメント推進検討委員会 議事概要 3. 議題 (1) 伊丹市公共施設等総合管理計画の中間見直しに係る答申書(案)について <li style="padding-left: 2em;">(2) その他 4. 閉会
資料	資料① 第 3 回伊丹市公共施設マネジメント推進検討委員会 議事概要 資料② 第 3 回委員会における委員発言要旨及び今後の対応 資料③ 施設の立地及び指定避難所に関する考え方 資料④ 施設分類及び評価項目・評価の視点に関する修正案 資料⑤ 伊丹市公共施設等総合管理計画の中間見直しについて 答申書(案) 資料⑥ 公共施設マネジメントの基本方針【新旧対照表】(案)

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員総数 8 名全員が出席しており、本委員会が成立していることを確認 ・録音、写真撮影の確認 ・資料確認 <p>2 報告（1）第 3 回伊丹市公共施設マネジメント推進検討委員会 議事概要（事務局から、資料①～④について説明）</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 3 P2～3 の災害、指定避難所の場合の必要性の検証であるが、この場合の避難所というのは、災害が起こってしばらくしてから避難されるということを前提とし、面積が算定されていると考える。ひとまず避難しないといけない状況になった時、単に面積が足りているからそれで良いということにはならないと思う。災害対応の方で議論する方が良い内容かもしれない。今回マネジメントの観点で、どこまでそれを取り入れるか。緊急事態の時に使えるように残すという視点も、頭の片隅に置いておくべきではないか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントの観点から評価が難しい部分もあるが、事務局としてはどのように考えているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の通り安全安心という点では、避難所は非常に大きなファクターであると考えている。資料 3 では避難所の必要性の検証として、マクロ的に言えば基本的には充足しており、仮に一律 10%削減しても目標値は確保できると分析した。これを施設評価の中で一つ一つ評価していくことは現実的ではなく、シミュレーションの部分が多いのではないかと理解している。資料の 4 の P1 で説明した通り、施設評価を赤点線の枠囲みの中で実施し、一旦結果が出てから、上位計画との整合や所管課のヒアリング、地域の実情等を確認し事業を実施することとなる。この事業実施段階において、必要に応じ避難所の視点や交通の利便性について様々な議論が加えられていくと理解している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・指定避難場所が確保されるよう配慮し、そのような視点を持って取り組んでもらいたい。 ・資料 4 P6～7 の内容で、公共性が低い・高いというチャートからスタートしているが、ソフトが低く公共性が高いというのはどのような状況を想定しているのか。本来ソフトが低ければ公共性は低くなるのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 4 P3 で、一次評価におけるハード・ソフト評価について資料を掲載しているが、ソフトは利用状況やコスト状況により評価を実施することとな

	<p>る。一方で公共性については、P2 で記載する通り施設の必需性等により施設分類を行うための基準であることから、ソフトが低く公共性が高いという施設は往々にしてあり得ると考えている。</p> <p>3 議題（1）伊丹市公共施設等総合管理計画の中間見直しに係る答申書（案）について （事務局から、資料⑤及び⑥について説明）</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追記事項の提案となるが、数年前から各自治体で財政のマネジメント強化のため、公会計が導入されており、その中で公共施設の老朽化対策等に活用できると言われている、固定資産台帳を整備されているものと考え。資料6のP18方針⑤効率的な施設管理を推進するため「施設マネジメントの一元化」の部分に、固定資産台帳で管理する減価償却費等を含めたコスト管理という視点を掲載してはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当初計画の策定時は公会計の整備中であり、計画に記載ができていなかったものと考えている。ご指摘のとおり減価償却費等を含めたフルコストの観点を追記する方向性で検討する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料5 委員長名での答申の内容であるが、最後の行が「総合的かつ計画的な管理を実施する」となっている。本委員会ではマネジメントの視点により議論を進めてきたため、計画的な「管理」ではなく、計画的な「マネジメント」を実施するとした方が良いのではないかと。「管理」と書くと事業の範囲が狭くなる。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本委員会の名称にもマネジメントとあり、貴重な意見であると考えている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指摘の箇所については表現を見直す。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料6 P1「施設を単なる設置目的を達成するためのハコ」という表現であるが、少し気になったのが「設置目的」という言葉。単純化した場合はこのような言い方もできるが、事業によっては達成するだけでも十分評価されるのではないかと考える。ここでは狭義の設置目的という意味で使用していると考えて良いのか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここで言う設置目的は、基本的に条例で規定されている設置目的であると考えている。この設置目的という表現は、市職員と市民の間で受け取り方が異なる可能性もあり見直しも検討したが、「単なる」という軽んじるような表現が、そもそも誤解を招くのではないかとという視点で表現を見直し、誰が解釈しても

委員	<p>問題の無いよう修正を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置目的を達成するのは容易ではなく、「単なる道具」と言えるぐらいまでしっかり運営ができていのはすごいこと。例えば、大学であれば教育研究を発展させるなど、素晴らしい成果を上げることが、そもそもの設置目的であったりする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、目標値に対して7割達成できればいいなど、「程度」というのもあるうかと考えるが、条例上の大きな枠組み・方向性ということで理解いただければと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでの意味について理解した。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の確認という意味で、事務局の考え方が分かり良い議論であったと考える。
<p>3 議題（2）その他</p>	
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回が答申に関する最後の議論の場ということになる。全体の感想や意見、特に市民委員の方々には、思いや願い、切望など最後に一言ずつお話しいただきたい。内容によっては、答申に反映できればと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は自治会連合会から参加しており、共同利用施設の今後のあり方については特に意識している。自治会の加入率低下や、地域活動の担い手不足が自治会で大きな問題になっている。高齢化が進む中、一人暮らしの高齢者の方も増えており、地域コミュニティは本当に大切なことであると実感している。地域コミュニティを推進するためには、公共施設が重要な位置を占めていると思っている。コロナ禍での活動ではより一層実感する。私が住んでいる地域では、過去に共同利用施設を統廃合して利用しやすい施設にするという機会があったが、結局地域での合意には至らず、現状のままになっている。今回の委員会では将来の負担を増やすことなく、できるだけ減らす方法を真剣に考え、目標を達成する必要があると感じた。共同利用施設のことよく理解できた。今回の検討内容を多くの人に伝え理解いただき、これからのコミュニティ施設のあり方について考えてもらいたい。また、統廃合や廃止を行う場合は、地域への丁寧な説明をお願いしたい。今回議論した評価方法は、施設を客観的に分かりやすく分類し、具体的な一次評価を実施した結果をマトリクス表に当てはめ、必要に応じて二次評価を実施するという方法である。私のような一般市民でも、割と分かりやすいなと感じている。他の市民にとっても、今回の評価方法は分かりやすいものになっていると考えている。本当に良い評価方法だと思ってい

委員長	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場の声として、具体的な問題点や課題を本委員会で意見いただき感謝している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・普段税金を支払っている感覚はあっても、使い道を考えるのは初めてのことだった。出てくる言葉も難しく緊張したが、今回最後の会を迎えて安堵している。人口が減っていくことも大きな問題だが、これからの公共施設は地球環境やユニバーサルデザインなど、費用のかかる問題にも対処していかなければならないことを考えると、厳しい時代になってくると感じている。公共施設を使っている人は、タダという感覚ではなく、若い人たちなど、誰かが負担するという感覚で施設の事を考えていかなきゃいけないと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設は使えて当たり前という感覚があるが、実際には税金が使われており、市民の立場から重要な指摘をいただいたものと感じている。また、若い世代の将来負担の話についても意見をいただき感謝している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は保護者の立場から今回の会議に参加しており、伊丹市は少し子どもの数が増えているが、将来的に子どもたちの数は必ず減少するだろう、そして少子高齢化が進むと、学校の統廃合等は避けられないのかなという気持ちがある。その中で市にとって、学校の活用方法等を考えていくことはとても重要なことだと感じている。子どもたちにとっても学びの場であることは間違いないが、それと同時に市や市民にとって災害時の重要施設であり、これからの活用方法等について考えていかなければならない時期に来ている。答申書にも書かれているように、災害時においては市民にとって一番安全な場所であると感じており、子どもたちにも地域にも良い環境になるよう、マネジメントをしてもらいたいと思っている。大変勉強になる会議であった。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・伊丹市はまだ子供の数や全体的な人口が、少し余裕のある市であるだけに、先に手を打つという観点から色々と議論ができたと考えている。保護者の立場から、今後の学校のあり方について色々と意見をいただき感謝している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設、建物を一度作ってしまうと維持管理や更新が必要となり、これから人口の変化やニーズの変化で、より負担にならないように随時検討をしていかなければいけないことを改めて考えさせられた。様々な利用者の方々がいる中、検討するのはとても難しい時代だと思うが、学識委員の鋭い視点からの意見を聞き、この答申書の中にも柔軟に意見が盛り込まれており、この先前向きに考えられるような方針やフローになっているのではないかと考えている。これからどんどん進化して発展していく伊丹市を見ることができれば市民として嬉

<p>委員長</p>	<p>しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物を建てることよりむしろ更新、維持というものにいかにかコストがかかるかというご意見。そのあたりをしっかりと踏まえて色々のご意見もいただき、最後は将来に期待したいという前向きな部分で締めていただいた。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど他の委員からも話のあった設置目的であるが、設置目的というのは行政的に条例にきちんと書き込まれていくということになるが、目的が変われば条例もまた変更していくことになると考えている。今回のマネジメントの本題にはならないと思うが、設置目的から外れた使い方の可能性もあるということ、頭の片隅に置いていただきたい。例えば、図書館や公民館であれば公式の目的があり、目的に沿った利用がされている一方で、不登校の子どもたちがいた場合、公民館や図書館で時を過ごす、居場所としてそこを利用するということもある。公民館の方と話しをしながら自分の悩みを語り、救われていくという状況があると、地域の方から話を聞いたこともある。これは今回のマネジメントの答申に書き込む内容ではないが、そのような視点もあると感じている。コミュニティ活動の場として、公式な目的でなくとも臨機応変に使用する場所もあるだろうと想像されるため、そのような使い方をしていくことも大事なかと考えている。
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設置目的については、当初の目的から時代やニーズの変化により柔軟に見直していくこと、これは他の委員からも意見があったように、私も本当に痛感している。その部分も答申書の中で柔軟に対応するという、図書館の利用の話などもあったが、設置目的に囚われすぎると言うか、行政は目的に照らすことは非常に大事なところではあるが、それに囚われすぎて本末転倒な施設の使われ方になってしまうこともあるのではないか。その点も踏まえ事務局と調整し、まとめていきたいと考えている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に良い答申書ができたと考えている。住民の方々にご理解いただける合意形成ツールの一つができたのではないかと思う。人口減少の中で公共施設の最適化という話が国から通知されているのはもちろん知っていたが、自治体の会議に実際参加したのは初めてで、行政は大変だなと毎回の会議で本当に感じていた。やはり財政的な面から公共施設はどんどん削減していかないといけないというのは間違いない方向だと思うが、先程柔軟性という話もあったように、施設の役割の価値をどんどん高めていくというような方向を模索し続けたいいけない。すごく難しい課題を行政は住民のために、進めないといけないということを勉強し、政策形成というものがなされていくのだなということを色々学ばせていただいた。良い委員会であったと思う。

委員	<p>・今回の委員会の感想であるが、ドラッカーの言葉を借りれば「マネジメント」とは条件や対象があって、その中で最適解を出していこうということになり、そのための具体的な方法や体制である」というようなことだったと記憶している。私も当初は、施設の計画を作るのにこのままではちょっと難しいのではないかと申し上げてきたが、結果的にはすごく良い評価方法ができたと考えている。先程他の委員から市民参加が可能な良いツールができたという意見や、別の委員からも非常に分かりやすい良いものだという意見があった。具体的な計画を、今後立案しやすい状況ができたと思う。また、市民参加ができるということで、市民の方とも一緒に議論するためのツールにもなっている。今回議論した内容を、できるだけこの通り実際の計画にさせていただき、今後これを使って伊丹市の公共施設マネジメントを進めていただければと考えている。設置目的が変わってくるという意見もあったが、今回のツールを使ってみて、実際にうまくいかないところが見つかるとか、そういうことがきっと出てくると思う。今回考えられたものをプロトタイプとして試しにやってみて、良くないところは改善し、より良いツールとして磨き上げ、伊丹市全体を良くしていただきたいと考えている。市民の方も今回参加された委員の方々も、きっとそういうことに賛同してくださるサポーターになってくださると思う。自信を持って市役所として取り組んでいただきたい。</p>
委員長	<p>・事務局には本当に生の声が答申書になっていると感じていただき、委員8名の気持ち、意見が届いたのではないかと考えている。他の委員からもあったように、まずは良いツールができたわけで、それが机上の空論にならないよう、うまく事務局には活用いただき、そしてトライアンドエラー。民間企業とは違い、行政はルールに完璧に従わなければ、という部分があるかもしれないが、今や行政もトライアンドエラーで早く回していく方が結果的には、エラーが少なくて済むのではないか。このような手法を含め今後の伊丹市に期待している。最後になるが活発な議論をいただき、市民の方の現場の声、学識委員の専門知識などをうまくマッチングして、本日に至れたことに感謝している。今後は本日の意見も踏まえ、委員長である私の方に、細かい修正、反映部分を一任いただくこととなりますが、皆様よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>・異議なし。</p>
委員長	<p>・それではそのような内容で、事務局と進めていく。事務局においては引き続き作業をお願いしたい。</p>
事務局	<p>4 閉会</p> <p>・委員長をはじめ、委員の皆様には、熱心に議論・審議いただき感謝申し上げます</p>

	<p>る。伊丹市の行財政運営に大きく直結する計画であり、議会や市民と共通理解をしながら進めるためのツールであると考えている。この計画を着実に進めていきたい。また、2040年度の目標年次を待たずして、見直しを進める時期が来ることも想定されるため、委員の皆様には引き続きご協力をお願いしたい。</p>
--	--

(以上)

以上のとおり、第4回伊丹市公共施設マネジメント推進検討委員会議事録として確認します。

令和4年 月 日 委員 _____

令和4年 月 日 委員 _____